手紙

慶応三年九月二十日　木戸孝允あて

坂本龍馬

青空文庫

一筆啓上仕候。

然ニ先日の御書中大芝居の一件、兼而（かねて）存居候所とや、実におもしろく能（よく）相わかり申候間、弥（いよいよ）憤発可仕奉存候。

其後於長崎も、上国の事種々心にかゝり候内、少　存付候旨も在之候より、私し一身の存付ニ而手銃一千廷買求、芸州蒸気船をかり入、本国ニつみ廻さんと今日下の関まで参候所、不計も伊藤兄上国より御かへり被成、御目かゝり候て、薩土及云云、且大久保が使者ニ来りし事迄承り申候より、急々本国をすくわん事を欲し、此所ニ止り拝顔を希ふにひまなく、残念出帆仕候小弟思ふに是よりかへり乾退助ニ引合置キ、夫より上国に出候て、後藤庄次郎を国にかへすか、又は長崎へ出すかに可仕と存申候」先生の方ニハ御やくし申上候時勢云云の認（したため）もの御出来に相成居申候ハんと奉存候。其上此頃の上国の論は先生に御直（じき）ニうかゞい候得バ、はたして小弟の愚論と同一かとも奉存候得ども、何共（なんとも）筆には尽かね申候。彼是の所を以、心中御察可被遣候。猶後日の時を期し候。誠恐謹言。

九月廿日　　龍馬

木圭先生

左右

青空文庫情報

底本：「龍馬の手紙」宮地佐一郎、講談社学術文庫、講談社
2003（平成15）年12月10日第1刷発行
2008（平成20）年9月19日第7刷発行
※底本手紙写真のキャプションに、（宮内庁　木戸家文書）とあります。
※丸括弧付きの語句は、底本編集時に付け加えられたものです。
※直筆の手紙の折り返しに合わせた改行は、省いて入力しました。
入力：Yanajin33
校正：Hanren
2010年10月9日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

手紙

慶応三年九月二十日　木戸孝允あて

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　坂本龍馬
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/